



小学校水泳大会

「ベストタイム」

五年 佐藤 叶夢

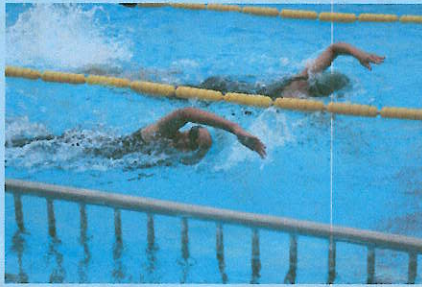
ぼくは、初めて水泳大会に出場しました。今までの練習の成果をはっきりできるように全力で泳ぎました。これまでのタイムを二秒も縮められて、ベストタイムが出せたのでうれしかったです。そして、来年の水泳大会では、誰よりも速いタイムが出せるように頑張りたいです。

「最高の水泳大会」

六年 春日 涼太郎

ぼくは、九月四日に行われた水泳大会に、五十メートル平泳ぎの選手として出場しました。この大会で今までの練習の成果を全部ぶつけようと思い、毎日一生懸命練習しました。本番ではとてもきんちようし

ましたが、最高の泳ぎをすることができ、自己ベストを五秒も縮めることができました。最高の大会になったよかったです。



「今できる中での水泳大会」

保護者 佐藤 幸恵

今年各校で、声を出さずに応援の下で開催。静かな雰囲気からは、子ども達の緊張が伝わってくるようでした。でもいざスタートすると、全力で泳ぐ姿。心の中で「頑張れ！」と何度も叫びながら、応援の拍手にも力がこもりました。目標に向かって泳ぎきる姿は、みんなキラキラしていて本当に格好良かったです。感動しました。御指導くださった先生方、ありがとうございました。

「平泳ぎなら、まあまあ」

保護者 市川 知子

プールは大好きだけど、泳ぐ事はあまり好きではない我が家の末っ子も、六年生になって水泳大会の選手に。「オレ、平泳ぎなら、まあまあ泳げるよ。」と、得意げに話してくれました。コロナ禍で、自校での分散記録会となってしまいましたが、平泳ぎで五十メートルを一生懸命泳いでいる我が子を見て、大きな成長を感じられた瞬間でした。三年間指導していただいた先生方、ありがとうございました。



ぶどう初狩り

「おいしかったよ」

一年 なかね あさひ

六ねんせいにてつだつてもらって、ぶどうのうえにあるえだを、はさみで取りました。とつたぶどうは、おもたかったです。きょうしつで、三つぶたべました。あまくてびっくりしました。

「がんばったぶどう栽培」

六年 市川 嬉助

今までは狩って食べるだけだったぶどう。今年は、実際に育ててみて、栽培の大変さを思い知りました。ですが、みんなに「おいしい」と言ってもらえるように努力しました。初狩り当日、みんなの「おいしい」を聞いたとき、すこうれしかったです。これからもこの伝統を大事に受け継いでいってほしいです。

「ぶどう初狩り」

保護者 山本 朋美

昨年は、サルに食べられてしまい一つも収穫することができませんでしたが、今年はハウスを作って下さり無事、立派なシャインマスカットを収穫することができました。収穫する時や味見する時の子ども達の笑顔がとても印象的でした。六年生の発表もとても上手にできていました。携わって下さった皆様に感謝いたします。

二学期の生活から

「つっぽう」 一年 おおやま かなな
つっぽうで、れんぞくまえまわりに、ちようせんしています。一かいまわつたら、すぐにおちてしまいす。まわつたあと、そのままぶらさがつていられるように、これからもれんしゆううしていきたいです。

「算数」 二年 比澤 りゆうしん
ぼくのがんばっていることは、算数のべんきょうです。とくに、算数の友のやりなおしや、まだならつていないかけ算のよしゆうをがんばつています。早くすらすらとけるようになってきてうれしいです。

「二学期にがんばりたいこと」 三年 大山 新太
ぼくが二学期にがんばりたいことは、学びい会です。ぼくは、なりたかつたかいぞくのやくになれました。本ばんは、大きな声でがんばりたいです。

「二学期にがんばっていること」 四年 南 維摩詰
二学期になってぼくががんばっていることは、学芸会の練習です。ぼくはたんじよう日が十月だし、内ようがおもしろいげきだから、がんばろうと思ひました。セリフや動きをがんばつて、おもしろいげきにしたいです。みんなが笑つてくれるようにがんばります。

「がんばっている検定」 五年 高橋 遼
ぼくは一輪車のタイヤ回し検定をがんばつて練習しています。それは、タイヤを足で回して五メートルすすむ技です。バランスをとるのがむずかしくて、まだ二回しか成功したことがありません。これからもういっぱい練習して検定で合格できるようにしたいです。



「二学期の生活」

六年 飯塚 遥海
二学期に入り、私は岡崎のハーモニーに向けて力を入れています。学芸会もあるためなかなか練習ができません。部活の時間に練習したり、授業後に練習したりしてがんばつています。ハーモニーをやることへの感謝を忘れず、今までの練習の成果を本番で出し切りたいです。

稲刈り

「楽しかった稲刈り」 四年 細井 彩衣那
九月二十七日に稲刈りをしました。最初に稲を刈る時、かまで上手に刈れなかつたり、手からバラバラと落ちてしまつたり、稲をきつく結ぶことができなかつたりしたけれど、学区の方が教えてくださつたおかげで、上手にできました。とてもがんばつたので、収かく感謝祭が楽しみです。

「中心としてやつた稲刈り」 五年 川畑 雄誠
五年生が中心となつて稲刈りをしました。前日は雨で心配でしたが、当日はしっかり晴れていたのが良かったです。ぼくは司会をやりました。テレビ局も来ていたので、きんちようしたけど、きちんとできてほつとしました。収かく感謝祭でおもちを食べるのが楽しみです。

「稲刈り」 保護者 中島 美恵子
前日の雨が心配でしたが、晴天の中での稲刈りとなりました。高学年の子は、低学年の子のフォローをして、動きも慣れた様子でした。低学年の子達も、束ねた稲を何個もかかえて、頑張つて運んでいました。大量の虫と蛇に驚きながら、地域の方々の協力もあり、どんどん稲が束ねられていきました。このもち米が、収穫感謝祭のおいしいおもちになるのが楽しみです。

小学校陸上大会

「二こまでこれたのは」 六年 朝井 海
私は、去年から練習していた八十メートルハドルに出場しました。大会では、二位になることができました。自分でも、二こまで成長できると思つていませんでした。二こまでこれたのは、今まで指導してくださつた先生方や応援してくれた仲間がいたからだと思ひます。本当にありがとうございます。

「最後の陸上大会」 六年 山本 航輝
ぼくは四百メートルリレーと走り幅跳びに出場しました。とてもきんちようしたけど、せいっぱいがんばりました。リレーのバトンパスが上手くいつてよかつたです。走り幅跳びも歩数を上手く合わせて跳ぶことができました。小学校最後の陸上大会は思ひ出に残る大会になりました。

「市陸上大会」 保護者 小原 悟
グラウンドに入賞者の名前が流れると、聞き慣れた恵田小の子どもの名前が流れてくる。娘の名前も流れてくる。思わず小さくガッツポーズをしてしまいました。
昨年まで参加していた、市民陸上から小学校陸上競技会にかわり、多くの小学校との競走となりました。多くの小学生と直接競走できていいと思ひます。

